

4月5日に署名運動代表者の森田義一氏と、小田急バスに 要望署名を提出しました 回送バスを営業運行に戻すことを求めました

回送バスは一週間で1700台以上

平成21年7月、市民の足として利用されてきた武蔵境営業所―三鷹駅間の小田急バスの多くが、回送バスになり、市民のみなさんの「回送バスの営業運行を元に戻してほしい」の署名運動が起きました。

森徹市議、笠井あきら衆院議員と一緒に国交省と話し合い

国交省が利用者の視点から対応を約束

国交省の担当者は、「利用者の視点からみた利便性の問題として、関係部局から事業者に対応するよう伝える」と約束しました。

森徹市議（三月市議会質問）に、清原市長が「小田急バスに対し、回送バスを営業運行するよう粘り強く交渉します」と答弁

三月市議会で森徹市議は、「車を運転できない高齢者にとって、病院通いや買い物など日常生活にバスは大切な移動手段で、三鷹市は小田急バスとの話し合いをおこない、その解決に努力することを求めます」と質問しました。

4月5日の交渉での小田急バス武蔵境営業所・成田副所長の返答
「現在、改善に向け社内で検討に入っている。もう少し時間がほしい。」



小田急バス武蔵境営業所の成田副所長と話し合う
森徹市議と森田義一氏

みなさんの署名に込められた熱い思いを重く受け止めます。いま、ダイヤのうちどれだけ営業運行に回せるかを検討中です。

上連雀4丁目在住

伊藤八重子（仮名・83歳）

病院通院のとき、なんと7台の回送バスが通り過ぎました

昨年11月に中央病院の診察が済み、松崎整形外科へ行くため、三鷹行きのバスを待っていたら、なんと7台もの回送バスが通過し、足が痛いし、悲しくなっていました。でも歩くのが大変なので、待ちました。やっとバスが来たら、大変な混雑で立っているのがやっとでした。回送バスの通過は非人情です。



もり
森

とおる
徹

日本共産党
三鷹市議会議員
Tel 46-6158

みなさんとご一緒にひきつづき、回送バスを元の営業運行にもどすまで、がんばります

この7月で2年になります。酷暑と寒い冬の回送バスが通り過ぎるなかでの長時間のバス待ちは本当に辛いものです。一日も早い解決を市民は求めています。小田急バスが市民に愛される公共交通機関として発展することを願っています。